

【九州地協 第30回定期委員会】開催



【所信を述べる芦原議長】

委員会では、議長に大戸委員（JR西労組福岡地本）を選出し、議事が進められた。九州地協を代表してあいさつに立った芦原議長（JR九州労組中央執行委員長）は、新型コロナウイルス感染症によってもたら

苦境にある今こそ労組の役割が重要

JR連合九州地方協議会（JR九州労組、JR西労組福岡地本、貨物鉄産労九州地区本部、JR九州バス労組）は、9月25日、福岡市で第30回定期委員会を開催し、2021年度の活動方針を満場一致で決定。この難局を乗り越え、JR産業の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現するべく「JR連合ビジョン」の現にむけ組織の総力を挙げて取り組むことを確認した。

されたJR産業への深刻な影響を踏まえ、コロナ禍にあっても地域の重要な交通機関である「鉄道」への支援措置等、喫緊の課題解決にむけた取り組みに触れたうえで、①安全確立の取り組み、②組織強化・拡大、③JRグループの発展にむけた政策課題への実現、④2022春闘への取り組みの4点について所信を述べ、とりわけ「コロナ禍の厳しい状況において、今こそ労働組合の存在意義・役割を広く語り掛け、JR連合ビジョンの実践による、JR連合九州地協への総結集にむけ組織の総力を挙げ取り組

もう」と呼びかけた。また、来賓にはJR連合から森安祐貴交通政策部長にご臨席を賜り、激励と連帯の挨拶を頂いた。

議事では、2020年度活動経過報告をはじめ、2021年度活動方針（案）を満場一致で確認。最後に芦原議長の力強い団結ガンバローで閉会した。

なお、役員改選では、濱田敦史常任委員（JR九州バス労組）原博之常任委員・赤松重幸会計監査員（ともに貨物鉄産労九州）が退任。新たに松元治山夫常任委員、石田雅人常任委員、山崎聡会計監査員を選出し、新体制がスタートした。

【2021年度役員体制】

- 議長 芦原 秀己（九州）
- 副議長 米村 弘隆（西）
- 副議長 田代 済人（貨物）
- 副議長 角当 智重（バス）
- 事務局長 木村 智隆（九州）
- 常任委員 渡邊 淳（西）
- 常任委員 石田 雅人（貨物）
- 常任委員 松元治山夫（バス）
- 会計監査 野正 祥平（西）
- 会計監査 山崎 聡（貨物）

組織をあげてこの難局を乗り越え、JR産業の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現しよう